

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の付き合いに関しては、新型インフルエンザ対策のため、交流を控えている。	もっと工夫を重ね、地域の人が気楽に訪れるようなホームにする。	新型インフルエンザ対策のため交流は当面控えなくてはならないが、来年4月、隣接して認知症対応型通所介護事業を始めるので、一体となりながら、地域交流やイベントを行い、日常的に交流が図れるよう努力をする。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見が少ない。	遠方の家族も多いけれど、継続して意見の引き出しに努める。	面会に来られた際には、利用者の状況等を話しながら、また、遠方の方には、写真や近況の報告を手紙で報告し、意見や要望を引き出す努力を行う。	12ヶ月
3	23	重度の人が増えて来ているので、思いや意向をどう把握するか。	重度の人の思いや意向が引き出せない場合、家族に伺ったりして、利用者本人の暮らしを支えられるようプランを作成する。	業務優先ではなく、ゆっくり話ができる時間を持って、思いや意向を引き出す。また、自分の思いをうまく伝えられない方には家族に伺いながら、利用者本人の最良の暮らしを探っていく。そして、得られた情報をもとに職員で話し合いプランに反映させる。	12ヶ月
4	33	職員が重度化した場合や終末期のあり方に関して不安を抱いている。	不安なことは職員全員で話し合い、ホームで出来る最大限のケアに取り組む。	重度化や終末期においては、状態変化時に受診、往診などで主治医の意見や家族の意見を聞き、職員全員で話し合う。そして施設で出来ることを家族に説明して了解のもとでプランを作成し、ケアを行う。それを繰り返す。	12ヶ月
5	35	地域の人の協力のもとで避難訓練をしていない。	地域住民の協力をいただいて合同訓練を実施する。	新型インフルエンザが下火になってから、近隣の方に協力をお願いし、避難訓練を実施する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。